文献2

神経内科, 89(3): 313-318, 2018 89:313 特集 II 脳炎・脳症・脊髄症の新たな展開 子宮頸がんワクチンに 荒田 関連した自己免疫性脳症 博"

** Hitoshi ARATA, M.D., Ph.D. & Hiroshi TAKASHIMA, M.D., Ph.D.: 鹿児島大学医学部神経内科·老年病学講座 Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima 890-8520, Japan.

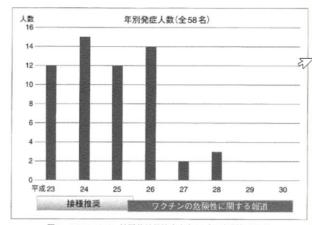


図2 HPV ワクチン接種後神経障害患者 58 名の年別発症人数 各年別の発症人数をグラフで示す. 発症時期は2011(平成23)~2014(平成26)

年に集中しており、2015(平成27)年からは激減している。 ワクチンの接種積極推 奨は2013(平成25)年6月で終了し、ワクチンの危険性に関する報道は2013(平成 25) 年3月が始まりであるとされている。

疫学について

当院は地方の中核病院であるという性質上,以 前から県内全域の原因不明神経疾患の患者を受 け入れている。HPVワクチンの積極推奨が開始 された2011(平成23)年からはこのような原因不 明の若年女性の紹介患者の数が急増した. それ ぞれの患者の発症時期を調査したところ、2011 (平成23)年12人, 2012(平成24)年15人, 2013 (平成25)年12人, 2014(平成26)年14人, 2015 (平成27)年2人,2016(平成28)年3人であり、 積極接種推奨が終了した2015(平成27)年以降は 新規患者の発生が激減している(図2)、ワクチ ン接種数と比例して患者発生数が連動している という結果であった。 特に2017(平成29)年以降 は新規の患者の発生はなく、本疾患への対策とし て 2013 (平成 25) 年 6 月 をもって HPV ワクチンの 積極推奨を中止した厚生労働省の施策が成果を 上げているといえる、HPVワクチン情報によるバ イアスが医師の紹介行動に影響を与える可能性 について調査したが、該当する患者の発生につい ては他の市中病院を含めても2017(平成29)年以 降は認めなかった。マスコミ報道が患者に与え る心理的影響の関連についても検討したが、HPV ワクチンに否定的な報道が出始めたのは2013(平 成25)年3月であるため、患者の発生時期とは一 致していなかった.

た、このような病態で発症した脳症患者のうち、 をHPVワクチン接種の部反応による神経障害と 捉えていると考えられる。そしてこの二つの疾患 はオーバーラップして存在していることが予想さ れる。このような病態の場合。通常はMRI検査 も正常な自己免疫性脳脊髄炎が存在するとの報 告も出てきているが、

われわれはどのような利益団体からも影響を受 疲労感の強い何がME/CFSとして認識されてい けていないし、特定のイデオロギーも有していな て、HPVワクチン接続に被発して発症した患者 い、現実に58名以上の患者を約5年にわたって 診療した経験から本論を記載している。残念な ことに、世間に強い発信力を持っている方々のほ とんどは, 本疾患に関する豊富な診療経験を有 では異常なく、健液一般検査でも正常なため、神 しているわけではない、 過去に精神疾患である 経内科医に許病や精神疾患として扱われている とされた疾患が、実際には器質的疾患であること ことが多いのが実情であるが、最近ではME/CFS がわかった事例は枚挙に暇がなく、このような新 の領域以外でもMRIで異常を認めず、動液所見 しい疾患の理解のためには従来の常識に囚われ

ない柔軟さが必要である. われわれの疫学調査 の結果からは、現在使用されている HPV ワクチ ン接種の積極推奨を漫然と再開した場合, 副反 応で苦しむ患者が再度発生することが予想され る。新たな副反応患者の発生を防ぎ、さらに増 加傾向にある子宮頸がん患者の発生も抑制する ためには、HPV感染に対する新たな対策の開発 が急務である。

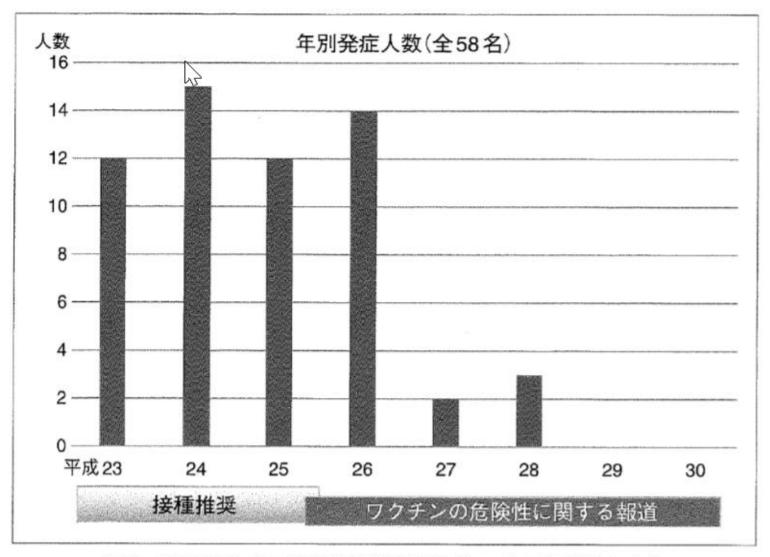


図2 HPV ワクチン接種後神経障害患者 58 名の年別発症人数

各年別の発症人数をグラフで示す. 発症時期は2011(平成23)~2014(平成26)年に集中しており,2015(平成27)年からは激減している. ワクチンの接種積極推奨は2013(平成25)年6月で終了し,ワクチンの危険性に関する報道は2013(平成25)年3月が始まりであるとされている.

信州大学でも同じ傾向が

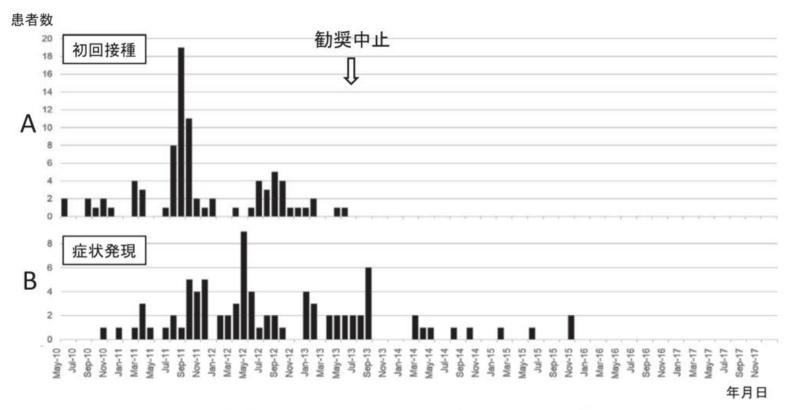


図 4 子宮頸がんワクチン接種後副反応と診断された84名のワクチン接種時,症状発現時,副反応 当方受診時の相互関連(文献18のfigure3に10名を追加した)